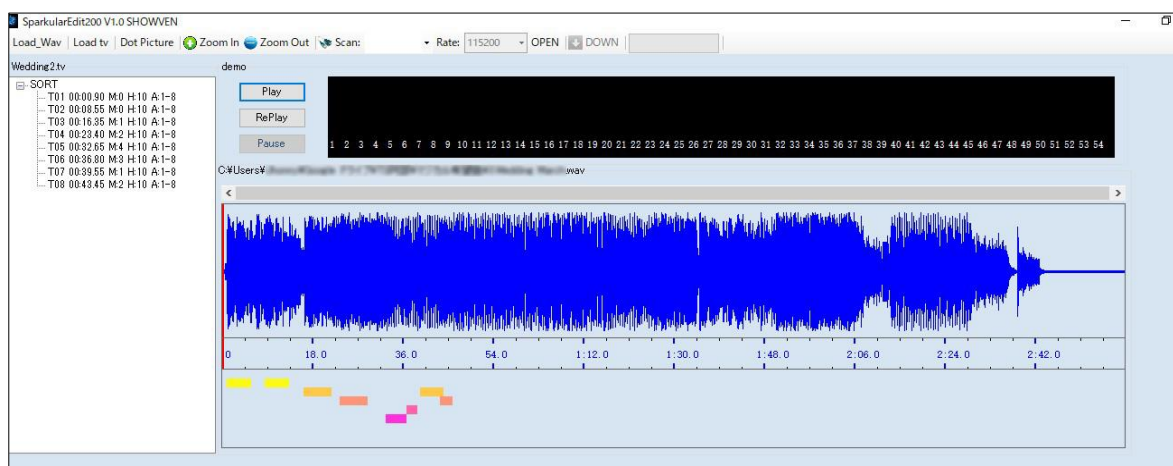


SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

SPARKULAR EDIT200は SPARKULARと音楽を同期させるのに最適なPC用編集ソフトです。同期したい音楽ファイル(WAV形式)を読み込み、表示される波形を見ながら、曲に合わせてSPARKULARを噴出させます。SPARKULAR本体のチェイスパターンをそのまま入力出来て、PC画面上で簡単なイメージをシミュレートすることが出来ます。



メインインターフェース

(1) WAVファイル(音楽データ)の読み込み。

ファイルメニューより“Loed_Wav”をクリックし、ファイルを読み込みます。

Load_Wav

(1-2) tvファイルの編集/tvファイルで噴出方法を定義する。

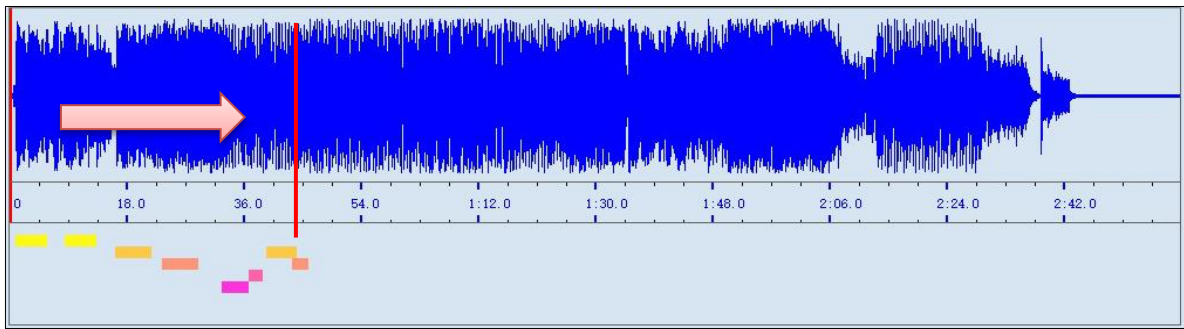
噴出パターンにはSPARKULAR本体に定義されてる以下の5つのパターンがあります。

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| 0:----- | シンクロモード 全ての本体が同期し同時に噴出します。 |
| 1:----->> | 選択された本体が左から右に順次噴出します。 |
| 2:<<----- | 選択された本体が右から左に順次噴出します。 |
| 3:<<----->> | 選択された本体が中央から両端に向かって順次噴出します。 |
| 4:>>-----<< | 選択された本体が両端から中央に向かって順次噴出します。 |

いわゆるこのチェイスモードの間隔は挿入の際、または左側に追加される定義ファイルを編集して詳細な間隔を設定します。

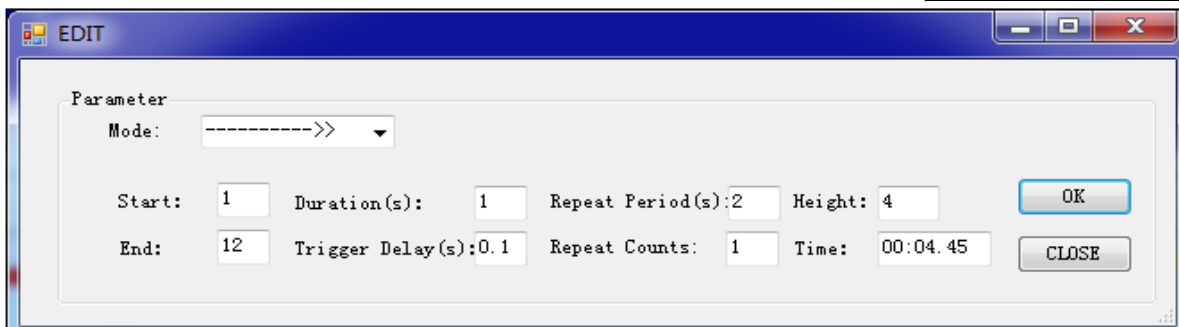
SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

(2) 音声波形にチェイスモードを追加する。



波形上の任意の時間に赤いカーソルバーを移動し、右クリックすると、右図のような挿入したい0~4までのチェイスモードが表示されますので、クリックし挿入してください。
挿入されると、下図のようなそのパターンの詳細設定画面が開きます。

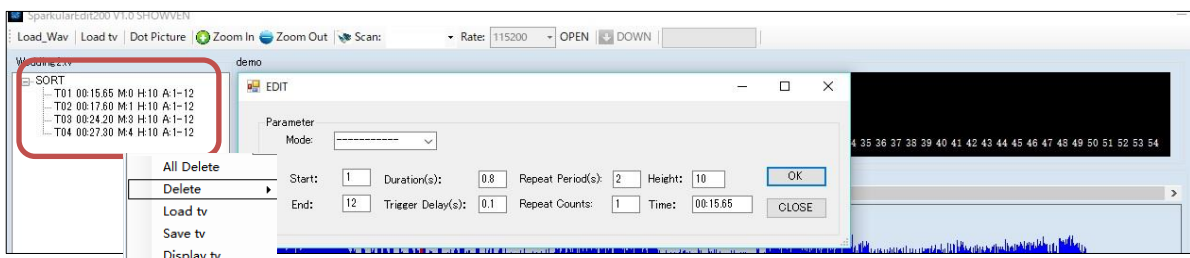
Lord Wav	
(0)	-----
(1)	----->>
(2)	<<-----
(3)	<<----->>
(4)	>>-----<<
	insert



Mode:	チェイスモード
Start:	スタート本体番号
End:	終了本体番号
Duration(s):	1台当たりの噴出時間
Trigger Delay:	チェイススタートしてからの遅延時間
Repeat Period(s):	繰り返し回数
Repeat Counts:	リピートカウント
Height:	高さ調整/1-10
Time:	トータルタイム

(3) パラメータの再編集

音声波形にチェイスモードを追加していくとメインウィンドウの左側にCueが記録されます

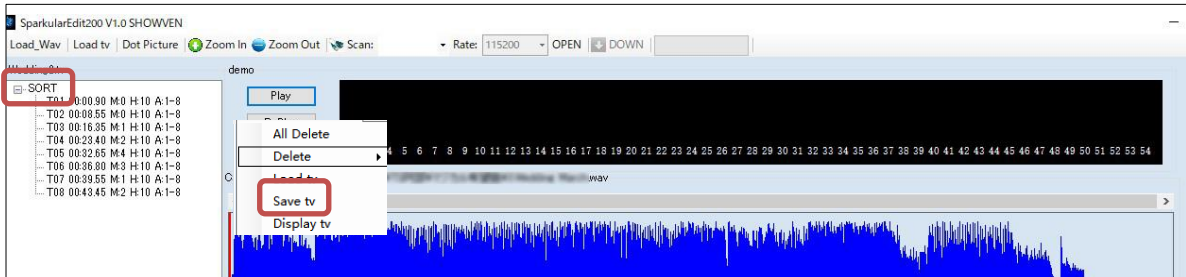


追加されたCueをダブルクリックでパラメータの再編集、右クリックでCueの削除出来ます。

SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

(4) パラメータ/Cue(tv形式)の保存

編集が終了したらCueとエフェクトを“tv”形式で保存します。



“SORT”を右クリックするとダイアログが開きますので、“Save tv”にて任意の場所、名前で保存してください。

(5) ドットピクチャの作成

ドットピクチャーはエフェクトと本体の動作を時間軸で表した表です。
Cueファイルを編集した後、その時間軸を確認するためドットピクチャーを作成します。



“Dot Picture”をクリックし作成フォームを開きます。

Form_dgv

Dot_picture

Quantity: 18

Height: 10

Make Dot

Save fir

Load fir

Return

Fill

Column: To:

Row: To:

Set Clr

使用ヘッド台数“Quantity”と高さ“Hight”を入力しMake Dot”をクリックするとピクチャーが作成されます。

SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

dot picture

Total Line: 925 Read:Wedding2.fir

Line	Time	1	2	3	4	5	6	7	8
323	00:16:19	0	0	0	0	0	0	0	0
324	00:16:19	0	0	0	0	0	0	0	0
325	00:16:20	0	0	0	0	0	0	0	0
326	00:16:25	0	0	0	0	0	0	0	0
327	00:16:30	0	0	0	0	0	0	0	0
328	00:16:35	10	0	0	0	0	0	0	0
329	00:16:40	10	0	0	0	0	0	0	0
330	00:16:45	10	10	0	0	0	0	0	0
331	00:16:50	10	10	0	0	0	0	0	0
332	00:16:55	10	10	10	0	0	0	0	0
333	00:16:59	10	10	10	0	0	0	0	0
334	00:16:55	10	10	10	10	0	0	0	0
335	00:16:70	10	10	10	10	0	0	0	0
336	00:16:75	10	10	10	10	10	0	0	0
337	00:16:80	10	10	10	10	10	0	0	0
338	00:16:85	10	10	10	10	10	10	0	0
339	00:16:90	10	10	10	10	10	10	0	0
340	00:16:95	10	10	10	10	10	10	10	0
341	00:17:00	10	10	10	10	10	10	10	0
342	00:17:05	10	10	10	10	10	10	10	10
343	00:17:10	10	10	10	10	10	10	10	10
344	00:17:15	10	10	10	10	10	10	10	10

Quantity: 8
Height: 10
ReMake
Save fir
Load fir
Return

Fill
Column: 1 To: 9
Row: 107
To: 115
 Set Clr

縦軸はタイムライン(時間軸)、横軸はヘッド本体を示します。
“Fill”欄及び左のドット上にてヘッドの噴出のON/OFFを設定編集します。
編集が終わると“Save fir”firファイルとして保存します。
“Return”ボタンでメイン画面に戻ります。

(5) エフェクトの表示

SparkularEdit200 V1.0 SHOWVEN
Load_Wav | Load tv | Dot Picture | Zoom In | Zoom Out | Scan: | Rate: 115200 | OPEN | DOWN |

Wedding2.tv demo

Play
RePlay
Pause

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54

C:\Users#\...\wav

demo

Play
RePlay
Pause

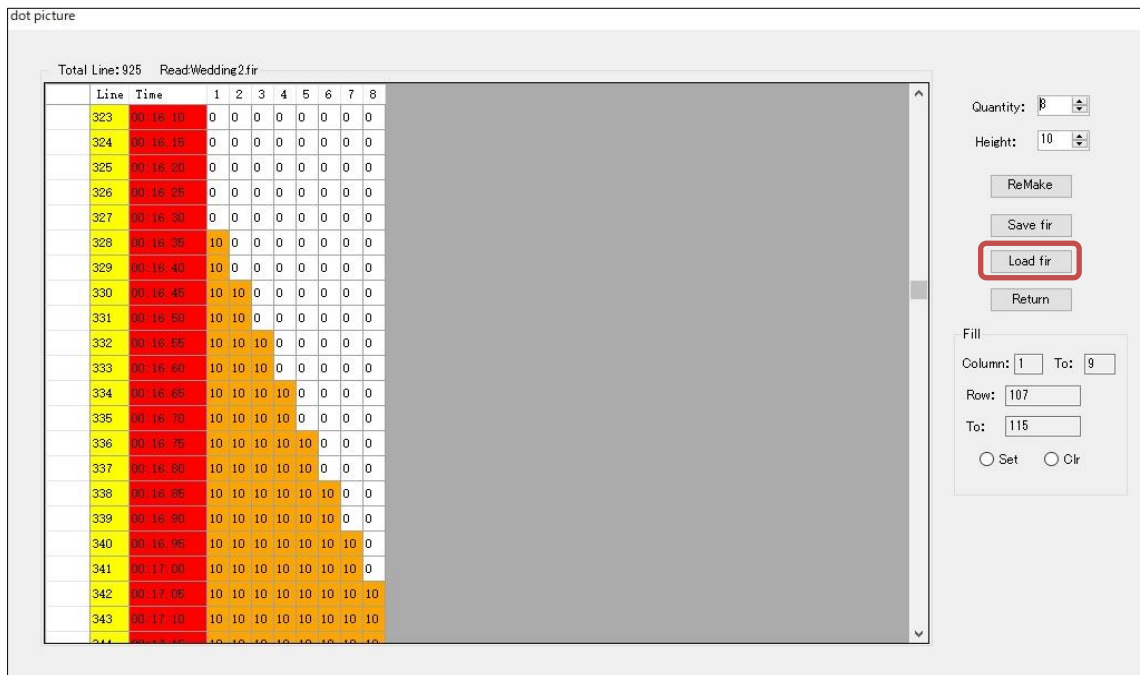
1 2 3 4 5 6 7 8

“fir”が正常にセーブ、ロードされていて、“Play”ボタンを押すと、メイン画面右上の“Demo”エリアにその動作状況が表示されます。

SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

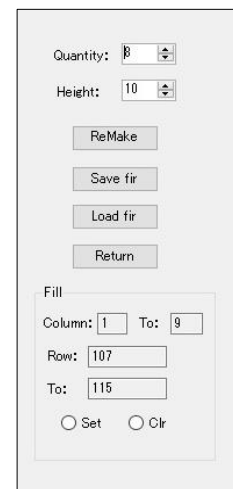
(6) ドットピクチャー上での手動編集

メイン画面の“Dot Picture”または“Load fir”で保存したfirファイルを開きます。



《コマンドの説明》

Quantity:	本体の噴出高さを設定します。
Hight:	本体の使用台数設定します。
ReMake:	メイン画面で編集した内容を再度反映させます。
Save fir:	編集したドットピクチャーを保存します。
Load fir:	編集されたドットピクチャーを開きます。
Return:	ドットピクチャー画面からメイン画面に戻ります。
Colum:	横列＝本体番号になります。
Row:	縦列＝時間軸Line番号の始めを指定します。
To:	縦列＝時間軸Line番号の終わりを指定します。
Set:	設定をします。
Clr:	設定をクリアします。



① シングルドット編集

任意のドットを一つずつシングルクリックしコラムの設定値を有効、無効にします。設定値はクリックすることにより有効、無効が切り替わります。

③ Fill指定編集

任意の一番左上のドットをクリックして選択設定し、範囲の一番右下のドットを選択設定すると、“Fill”欄にその範囲が指定されます。“Fill”欄の“Set”で設定、“Clr”で設定を無効にできます。初めにドットを選択設定するときは、範囲内の設定値と同じである必要があります。

③ ドラッグ編集

任意の複数ドットをドラッグして選択し、青色に反転させ、右ダブルクリックで設定値は有効に、右シングルクリックで無効になります。

※ドットピクチャー上で手動編集したら必ず“Save fir”してください。

SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

(7) プログラムを本体へダウンロードする。



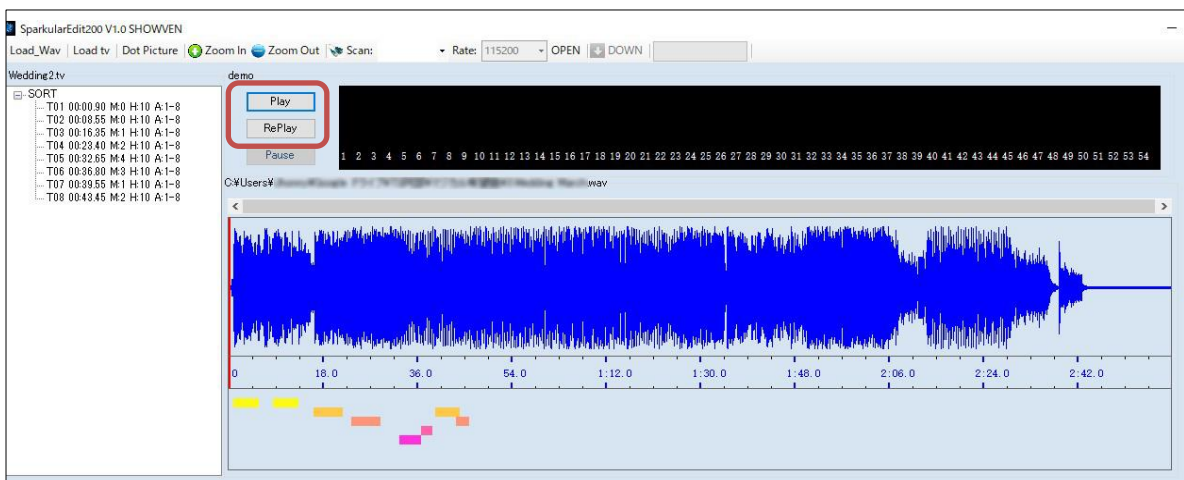
PCとメインコントローラーをUSBケーブルで接続しメイン画面の“Scan”をクリックすると、PCがコントローラーを検索します。
接続された適切なポートが見つかり転送レートがハイライト表示されます。
(デフォルトで15200)そのまま“OPEN”をクリックし続いて“DOWN”をクリックするとデータのダウンロードが始まり、メイン画面左下にその進捗状況が表示されます。通常は数秒でダウンロードは終了します。

※ダウンロードされるファイルは現在開いている“fir”ファイルだけです。

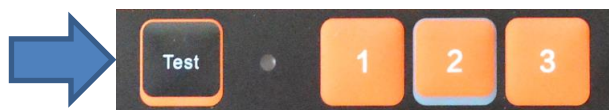
《メインコントローラー上でのデータ管理》

メインコントローラーは複数のプログラムファイルを管理しますが、必要に応じてコントローラー側でダウンロード先(ファイル番号)を指定してください。
指定しないでダウンロードすると、現在開いてるファイルに上書きされます。
詳しくはホストコントローラーのマニュアルを参照ください。

(8) オペレーティング



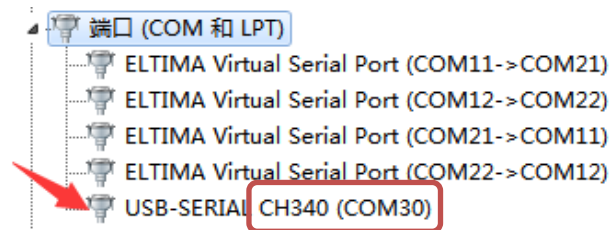
メイン画面の“Play”をクリックするとカーソル位置から再生されます。
メイン画面の“RePlay”をクリックすると初めから再生されます。
メインコントローラーを接続している場合は同期して動作します。
メインコントローラーの“Test”が有効になっていればシミュレートモードとして、火花を出さずにコントローラのLEDで動作を確認できます。



SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

(9) FAQよくある質問

- Q1: “DOWN”ボタンがグレー表示のままをクリックできない。
- A1: “DOWN”ボタンはドットピクチャが生成された時にのみ有効になります。
- Q2: “ダウンロードに失敗しました”
- A2: このソフトはCHA340チップのシリアルポートのみ表示します。
デバイスマネージャにてCHA340のCOMポートの割り当てを確認
または割り当てを変更してみてください。
ポートを間違えて指定している場合があります。



- Q3: シリアルポートが見つかりません。
- A3: デバイスマネージャにてCHA340が表示されない場合は、USBケーブルとPC、コントローラーの接続を確認してください。
PCのUSBポートを変えて差しなおしてみてください。
ドライバーの再インストールを試みてください。
以上で解決しない場合はコントローラ、またはPC、USBケーブルの故障が考えられます。
- Q4: “Play”をクリックしてもdemoエリアに動作状況が表示されない。
- A4: 動作状況が表示されるにはドットピクチャ(firファイル)が作成、ロードされている必要があります。
- Q5: ドットピクチャで編集変更した内容で動作が反映されない。
- A5: ドットピクチャはメイン画面での編集結果に基づき計算表示されます。
逆にドットピクチャでの編集結果に基づきメイン画面に計算表示されます。
修正されたドットピクチャでは新しいものが生成され元のデータはクリアされることになる為です。
- Q6: ドットピクチャを生成出来なかった。
- A6: 最初にメイン画面上で編集、tvファイルとして保存する必要があります。
ドットピクチャはメイン画面での編集結果に基づき計算表示される為です。
- Q7: ドットピクチャを生成した時、エラーが表示される。
- A7: 最初にメイン画面上で編集する際、最低2つのエフェクトを挿入する必要があります。
またエフェクトのパラメータが不適切な場合もエラーが表示されます。

SPARKULAR EDIT200 ユーザーマニュアル

- Q8: PCでメインコントローラを動作させた時、PC上の動作と実際が違う。
- A8: メインコントローラが“Special Effect”モードになっているか、または最新のデータがコントローラにダウンロードされているか確認してください。
- Q9: ダウンロードに失敗しました。
- A9: USBケーブルに問題がある場合があります。
頻発する場合はUSBケーブルの交換、またはUSBポートを差し替えて再度ダウンロードしてみてください。